

American car & style magazine. [エーカーズ]

www.acars-mg.jp

A cars



乗らずに死ねるか

カッコいいピックアップに
乗りたいのだ!

Pickup Truck



PONTIAC CLASSICS
'79 PONTIAC
FIREBIRD
TRANS AM
"BLACK BIRD"



コルベット伝統のGSがC7に復活
'17 CHEVROLET
CORVETTE
GRAND SPORT



SECOND ISSUE
Charm of The American
Neo Classic
Fullsize Vans

80-90s Low Roof Conversion Models
ネオクラシック〜懐かしのコンバージョンVANを振り返る



USA & JAPANのカスタム・ピックアップ
ストックに宿るカッコいいの真理

2016-2017ピックアップカタログ
旧車ピックアップのカッコいい乗り方
本場USAの日常を激写SNAP×SNAP
すでに宝物な忘れ得ぬピックアップ集
売り切れ御免の今すぐ買える物件情報

福野礼一郎の
晴れた日は
アメリカでいこう

※10冊: Ford Explorer Titanium
タニエル・V・ティズーゴン
(KJWS)を語る

A-Girls
ESTATE
WAGON
×逆藤彩香



Vol.277
MAY
2016
¥700

05



MR. NORMの手に掛るハーストモデル

HEMI搭載のエクスペストラック

2016 DODGE RAM Hurst Heritage GSS RAM1500

マッスルカー世代には心に刺さる“ハースト”という響き
そしてボディに描かれたゴールドのラインが存在を誇示する。
RAMにHEMIそしてHurstという最強のショートトラックを見よ！

2002年のイントロデューズが新鮮だったダッジ・ラムは、それまでの厳ついスタイルから洗練されたデザインになるのと同時に、パワートレインをすべてを新誕生させてきた。2003年の翌年にはメキシコで主力生産される新型のHEMIエンジンを搭載することで、このRAMシリーズとHEMI人気をうまく両立させたといえる。2007年モデルのマイナーチェンジで、現在の基本スタイルとなるルックスを獲得し、以降、アクの強いイメージは健全だ。

ここに取り上げたのはミスター・ノームがくり上げたハースト名が掲げられたエクスペストラック。GSSというネーミングは昔からのモーターファンに訴えることのできるモデル向けに往年のネーミングであるGSSをつけたもの。歴史的な意味合いももつことからヘリテージGSSと名付けられた。軽快なショートベッドをベースに、HEMIエンジン、そしてゴールドのアクセントを施したハーストホイールが煌びやかだ。もちろんハーストなら

はのゴールドストライプもビシッと入っている。サイドアクセントにはノームが製作するラム専用のエアロスポイラー、フードピン、スナッグトップのトノカバーを持ち、クローム製のガスキャップで仕上げられる。

70年代の強烈なイメージを持ったハーストクローム&ゴールドのフォードホイール“スタナー”は、22×9.5インチを四隅にマウント。セットされるのはニット-NT420S。サイズは305/45R22となる。

PHOTOGRAPH BY TONY MARRAS/STYLING BY JESSICA WILSON



Check it Out!

Hurstってのはそんなに速いの？

ハースト…この名も知るハイパフォーマンスな社名は、元来、クイックスロウと呼ばれるショートストローク型フロアシフターの「ハーストシフター」からきている。70年、71年とNHRAのプロストックチャンピオン、ロニー・ソックス (別名MR.4SPEED) は「このハーストシフターのおかげでチャンピオンになった」といった。彼はこのとき新型だったHEMIクーダで優勝を飾ったのだった。ハーストの創始者でエンジニアのジョージ・ハーストは、常に新しいものを創意工夫して製作してきたが、その後このハーストのイメージを全面に押し出したコンプリートカーを製作し、話題となった。同時に、こうしたインダストリーがコンセプトカーを造る流行の先駆けともなっていたのだった。あの「ハーストオールズ」は、その代表的な例だったが、それ以外にも数多くのハーストビークルを製作して、その名声を高めたのだった。



アンダーザフードといえば、ファクトリー5.7HEMICANクルエアインター、フローマスター・アメリカン・サンダー・キャタパルクのエキゾーストは必須。エンジンを覆うシールドにもゴールドのカスタムペイントが施してあるのが面白い演出。現車は、新車であることやまだスーパーチャージャーが完成していないこと、さらにストックエミッション(ノーマル状態の排ガス)の方が販売面では問題がないので、エンジン・チューニングやコンピュータ・マッピングの変更は不可になっている。



ワイド化されたタイヤもホイールのため、スタイリングの神髄はブッシュワッカー製フェンダーフレアをセット。それによりパーフェクトな用いることができた。



フードビンやカスタムメイドされたガスキャップ、各部のエアロなどがハーストのレースシーンをフィーチャーしている。



シートはハーストの文字をあしらった特性のレザー張り。操作系はストック状態のままのため、シフターは中央パネルの中にあるダイヤル式。ハーストなれども時代の流には逆らえないということか。



PHOTO&REPORT
TA PRODUCTION
SPECIAL THANKS
MR.NORM'S
<http://www.mrnorms.com>